

マネージメント情報

※ 島根県と兵庫県に行ってきました。

9/3-4 に島根県出雲市で開催された日本胚移植研究会に行ってきました。飛行機の乗り継ぎが大阪だったので、帰りに大学時代の先輩(3本の指に入る神戸ビーフの肥育農家)と同級生(淡路島に新規就農した神戸ビーフの繁殖農家同級生)の農場ともう一軒、淡路島で一番の繁殖農場を視察してきました。

以前このM情報で紹介したことがある大田原農場(搾乳牛700頭)の息子さん(獣医師・後輩)にも会場が近かったので会って情報交換をしました。

それぞれに府県と北海道の違いを痛感させられたので紹介します。

まず、高齢化という状況は私たちが思う以上に進んでいるということが一番に感じたことです。昨年、島根県で1,500頭規模を想定した酪農場の新規就農があり現在は300頭規模の搾乳をしているそうですが、平均規模の農場では後継者がいなく、将来的に島根県には大規模な酪農場が5戸しか残らないといわれているそうです。相談事をするにも同年代の後継者が近くにいないどうしても他県の同規模の農場との関わりになるそうです。

兵庫県は近畿地方一番の畜産県ですがここでも高齢化が著しく、例えば同級生のいる淡路島の農協管内では繁殖農家が220戸あるそうですが、そのうち200戸は70~80才、2~3頭での経営で残りの20戸が新規就農だったり後継者のいる農場とのことです。私の同級生ということはすでに50才を超えているわけで、根室の感覚でいうとボチボチ世代交代を考える年齢ですが、淡路ではまだまだ漬垂れ小僧の域で、集まりで何か提案するとのこりの200戸の力で否決されてしまったり、農協も思うようには対応してくれないらしく、閉鎖的で新しいことができないと嘆いていました。

ある意味閉鎖的な環境が神戸ビーフのブランドを守っているという側面はあるのでしょうか…。

先輩の肥育農場はとても優秀で神戸ビーフの共進会で最高位の常連さんですが、ここでも後継者がいなくいずれどうなるかわからないとのことでしたが、お父さんは80才を過ぎてもまだ現役で先輩と共進会で張り合っているとのことです。とにかく高齢化と規模の小ささということについては本当に大変な問題であるということを目の当たりにしました。

三軒目の農場は三代目で牛の血統がしっかりしているのと繁殖・育成技術がすぐれているので24頭規模(淡路では大規模)で左団扇の経営でした。牛舎は糞ひとつ落ちていないほど清潔で当然と言えば当然ですが暑熱対策や発情発見の工夫をかなりしっかり実践していました。

24頭で飯が食えるという牛屋さんがいるという現実を見るとなんとも羨ましい限りでした。

※ 神戸ビーフというブランドについて

先日の北海道新聞に北海道ブランドの記事が載っていました。

何と言ってもダントツで十勝が一番で根室は確か下から何番目という状況で随分ショックでした。今回神戸ビーフの農場を視察してきた時にブランドの力というものを痛感してきましたので、少し神戸ビーフについて紹介します。

神戸肉流通推進協議会規約からの抜粋です。

たじまぎゅう

(兵庫県産(但馬牛)の定義)

第20条 「兵庫県産(但馬牛)」とは、本県の県有種雄牛のみを歴代に亘り交配した但馬牛を素牛とし、繁殖から肉牛として出荷するまで当協議会(神戸肉流通推進協議会)の登録会員(生産者・446名)が本県内で飼養管理し、本県内の食肉センターに出荷した生後28ヵ月令以上から60ヵ月令以下の雌牛・去勢牛で、

歩留等級が「A」「B」等級とする。

尚、兵庫県産（^{たじまぎゅう}但馬牛）を^{たじまぎゅう}但馬牛、但馬ビーフ、TAJIMA BEEFと呼ぶことができる。

（神戸肉・神戸ビーフの定義）

第21条「神戸肉・神戸ビーフ」とは、第20条で定義する「兵庫県産（^{たじまぎゅう}但馬牛）」のうち、未經産牛・去勢牛であり、枝肉格付等が次の事項に該当するものとする。

尚、神戸肉・神戸ビーフを^{こうべぎゅう}KOBE BEEF、^{うし}神戸牛、神戸牛と呼ぶことができる。

(1)肉質等級・脂肪交雑のBMS値No. 6以上とする。

	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12
脂肪交雑基準	0	+	-		+	-		+	-			
	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	4	5
等級 新規格	1	2	3		4			5				
「神戸肉」の定義							神戸肉・神戸ビーフ					
「兵庫県産（但馬牛）」の定義	兵庫県産（但馬 ^{ギョウ} 牛）*地域ブランド含む											

(2)歩留等級・「A」「B」等級を対象にする。

(3)枝肉重量・雌は、230kg以上から470kg以下とする。

・去勢は、260 kg以上から470kg以下とする。

(4)その他・枝肉に瑕疵の表示がある場合は、本会が委嘱した畜産荷受会社等（委嘱会員）がこれを確認し、「神戸肉・神戸ビーフ」の判定をする。

但馬牛は和牛のなかでも小さく、枝肉重量を考えると経済性は低いのですがそれを逆手にとってほんの少量しか市場に流通しない仕組みをとり、肉質等級はそんなに高くないのですが、神戸ビーフの歴史と信用でブランドを保ち全く別な世界を全県を上げて取り組んでいます。そのおかげでBSE騒ぎの時でも神戸ビーフへの影響は全く無く、その存在は微動だにしなかったところか耳標をつけることになってからますますその信用は高まったそうです。

もっと美味しい（格付けでは上の）牛肉は多々あるのですが、世のお金持ちの方々には神戸ビーフでなければダメだという人たちがそれなりにいるそうです。

酪農では難しいでしょうが、将来的には十勝に負けない、根室ブランドを作っていくということも視野に入れてわれわれも行動していかなければならないのでしょうかね。

※ 西越さん頑張っていますよ

7月に私用で旭川に行ったついでに西越に会ってきました。

6年ぶりの学生生活を彼なりにとても謳歌していました。

現在はトライアスロンにはまっているそうで、前日から夏休みに入ったところで毎日水泳 2~3km、バイク（自転車）20~30km、数日おきにランと私には考えられないようなトレーニングをしているとのこと…。

洞爺湖マラソンにも出場して完走。

8/7に行われた大雪トライアスロンに出場して87位で完走したと連絡がありました。

学業の方も昨年後期からの入学以来全科目で5番以内(100人中)の成績とのことで趣味ばかりではなく、文武両道で充実した学生生活をおくっているようです。

卒業後もちろんと別海に帰ってくると、地域医療の為に貢献するという初心も忘れずにいました。奥さんと一緒に食事をした時の写真を添付しますので懐かしがって下さい(見た目は何も変わりませんがトレーニングのおかげで体脂肪率は5%以下とのことです)。

先日行われたツールド北海道初日(旭川)の個人タイムトライアルにも出場したと連絡がありました。本当に一人だけ学生生活を謳歌しているようです。



※ 北海道の呼称の由来

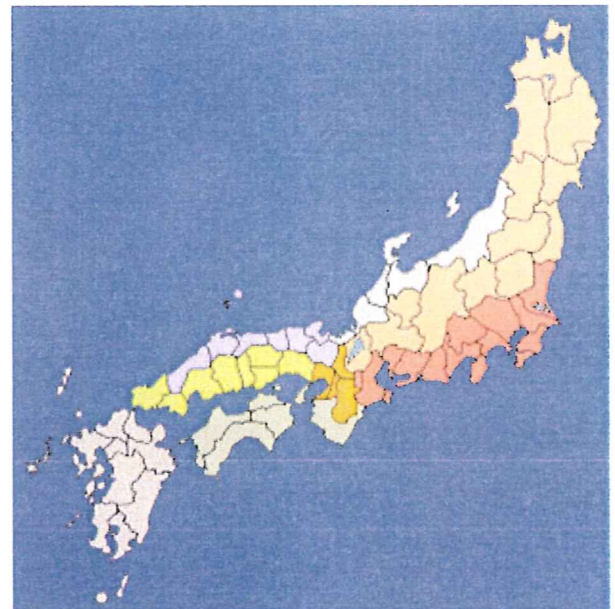
今まで自分が生まれ育った北海道の名がどこからきているのか知らずに50数年生きてきましたが漸く判明しましたので、そのお裾分けの情報です。

北海道は、1869年9月20日(明治2年8月15日)に、従来和人により「蝦夷地・蝦夷ヶ島・蝦夷ヶ千島(中央からみて異質な民族=蝦夷、の地の意)」などと呼ばれていた島に対して名づけられた名称で、明治以降の行政区画名である。その名は7世紀後半に成立した律令制下の五畿七道に倣ったものとされて、命名者は幕末期に蝦夷地を探検した松浦武四郎とされ、以降北海道を加えて五畿八道と称されるようになる。

(ウイキペディアより)

とのことです。

というわけで、五畿七道の地図には北海道は含まれていません。



畿内	東海道	東山道	北陸道
山陰道	山陽道	南海道	西海道

-
- ・ 道新に、一昨年まで日本ハムのヘッドコーチをしていた白井一幸さんのコラムに石川遼の事がでていましたので紹介します。

元日本ハム・ヘッドコーチの白井一幸氏は、石川遼選手の好調の秘訣を「適切な目標設定」によって解説している。

「20歳までにマスターズで優勝する」とは彼のよく知られた目標ですが、日々のコメントからも分かるように、彼は短期的な目標をいくつも設定しています。それらが具体的、現実的、しかも達成可能で、しっかり期限を区切った目標であるからこそ、着実に到達できているのです」

経営学では、良い目標設定は「SMART」の基準を満たしたものである、と言われている。すなわち、

Stretch (ストレッチされた)

Measurable (測定可能な)

Achievable (達成可能な)

Realistic (現実的な)

Time-related (期限がある)

である。

逆に「非現実的な高い目標」や「漠然とした目標」は、人を成長させる力はない。

早稲田大学競走部の渡辺康幸監督も、「自分が手に届く」現実的でほどよくストレッチされた目標を選手に持たせることで、低迷する駅伝チームを復活させた。

適切な目標設定をサポートすることこそ、指導者の役割であるといえそうだ。

出所：北海道新聞（夕刊）2009.8.5(3面)

彼の目標は20才でマスターズ優勝とのこと。白井氏曰く目標を立てる時には必ずその期限を作るといことがとても大事で、漠然と目標をもつ人はたくさんいるけれど期限をつくらなければその実現は難しいと。

17才の少年がきちんと期限付きの目標を持っているということが驚き!!!ということです。

- ・ 先月はタッチの差でこのM情報のメ切に間に合いませんでした。その分今回は頑張ってみましたが最近は本当に年のせいなのでしょうね、頭の働きが思うようになりません。気力、体力、記憶力、目、耳、全てががっついていきません。あしからず……

21.09.18. Y

ヨーネ病抑制対策はヨーネ病のためだけではない

マイケル T. コリンズ, D.V.M.

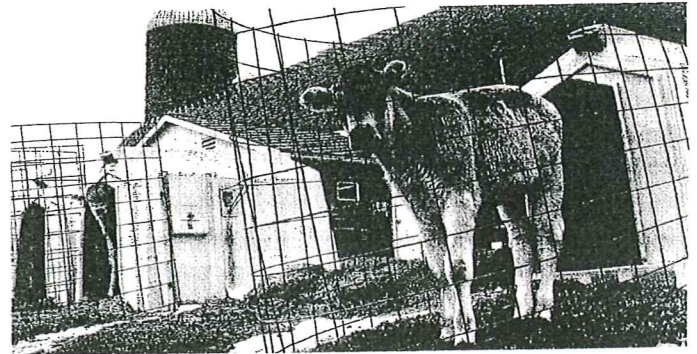
ヨーネ病を抑制することは根本的に、子牛を冒すサルモネラ、クリプトスポリジウム、数種のウイルス性の病気のような、他の多くの感染症を抑制するために役立つ。これらの病気は牛糞を通して、牛糞-経口経路で経産牛から子牛へ広がる。

病気の伝染を制限することには、多くの異なる面が関わった本格的なバイオセキュリティ計画を必要とする。下の表は、特定の管理変更が牛群衛生にどのように影響するかを

決定するための情報である。

より健康な子牛は、より生産的な牛へとつながる。調査によれば、ヨーネ病検査陰性牛はより高い乳期乳量と生涯乳量を持つことが証明されている。また、それらの牛は、*M.paratuberculosis* に汚染された牛乳を生産する可能性が最も低い。

このような理由で、ヨーネ病抑制対策は単純にヨーネ病の状態にかかわらず、全ての農場で行うべき最善の管理実践の一部なのである。



病気を制限するためには、子牛を個別の飼養施設に置いて他の子牛との接触を排除するだけでなく、成牛の牛糞との接触も排除することが重要である。

酪農場の感染症や病原菌を防ぐ

よくまとまっている表なので 転載しました(A)
参考になさって下さい。

これらの病気を防ぐために役立つ実践	ヨーネ病	サルモネラ	大腸菌	ロタウイルス	コロナウイルス	コクシジウム症	クリプトスポリジウム症	BLVD	IBR	パラインフルエンザ	BRSV	レプトスピラ症	クロストリジウム症	BLV	マイコプラズマ	伝染性乳房炎	口蹄疫
訪問者																	
訪問の前と後にブーツを消毒する	X	X	X	X	X	X	X	X									X
清潔な衣服を着用する																	X
流行地を訪れた後5日間は農場を訪問しない																	X
牛群衛生																	
予防接種	?	X	X	X	X			X	X	X	X	X	X				
検査	X	X						X						X	X	X	
導入した牛の隔離	X	X						X	X	X	X				X	X	X
感染牛と病畜の隔離	X	X						X	X	X	X				X	X	X
慢性的感染牛の淘汰	X							X						X	X	X	
害虫・有害動物抑制対策(ハエ、げっ歯類、鳥)		X				X	X					X		X		X	
1頭ごと直腸検査用手袋と注射針を交換														X			
子牛管理																	
良い初乳管理と乾乳牛と初任牛の予防接種			X	X	X												
清潔なペンでの分娩、可能な限り早くペンから出す	X	X	X	X	X	X	X	X									
通気の良い成牛から離れた場所で、個別に収容	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X						
初乳：検査陰性牛からの品質の良い初乳を生後4時間以内に給与	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
臍を7%チンキ剤かノルヴァサンに浸す			X														
1日1回給餌器具を消毒		X	X	X	X										X		
代用乳か殺菌処理済みの牛乳を給与	X	X	X					X						X	X	X	
抗コクシジウム剤の給与						X											
給餌管理																	
消毒した給餌器具の使用	X	X	X	X	X	X	X	X									
成牛の残飼の廃棄	X	X	X	X	X	X	X	X									
牛糞管理																	
ペンを清潔に保つ	X	X	X	X	X	X	X	X									
分娩ペンを清潔に保つ	X	X	X	X	X	X	X	X									
分娩場所と育成牛飼養場所を牛糞貯蔵場所から遠くに離す	X	X	X	X	X	X	X	X									
搾乳管理																	
良い搾乳実践を行う															X	X	
搾乳後に乳頭をディップする															X	X	
乾乳時に乾乳治療を行う																X	
搾乳機械の定期的メンテナンス															X	X	